

第 14 回
日本支援工学理学療法学会学術大会
協賛趣意書

会期： 2025 年 12 月 20 日(土)21 日(日)
会場： 北九州国際会議場
大会長： 遠藤 正英
(桜十字グループ福岡事業本部)

開催趣意書

本学会では装具、義肢、車椅子や福祉用具など各病期で使用されているツールに留まらず、生活自立支援を促進するための住環境整備やロボティクスを用いた運動療法など多岐に渡る領域を網羅しています。また、それらの介入効果や開発等を基盤とする臨床研究の推進、科学的根拠の構築を図っております。そして、研究活動から得られた根拠のある知見を基に、より良い理学療法へ繋げていきたいと考えております。

さて、内閣府が掲げている政策の1つにムーンショット型研究開発制度があり、この全ての目標が「人々の幸福 (Human Well-being)」の実現とされています。さらに2050年に向けたSociety5.0の実現へと科学技術の発展は目覚ましいものになることが予測され、理学療法も同様に発展していくためには「医療と工学の連携 (医工連携)」がこれまで以上に重要となっていくと考えております。

医工連携のためには、臨床の医療従事者、リハビリテーション工学に精通した医工学研究者など、臨床と研究のそれぞれの専門職が関わることが想定され、ニーズの同定、ニーズとシーズのマッチングが重要です。それらを実践するためには、臨床と研究の融合が不可欠であると考えております。

そこで、第14回学術大会のテーマは、「臨床と研究の融合～支援工学の活かし方～」と致しました。本学会に求められる役割として、義肢、装具、車椅子や福祉用具の効果を示すエビデンスの構築があり、これらにかかわる技術的な発展には臨床と研究の融合を図る必要があります。

本学術大会では義肢装具、福祉用具、先端技術を中心とした各領域の教育講演をはじめ、シンポジウム、ハンズオンを企画しています。また、企業展示会場では、各社の機器を実演できる空間と時間を設ける予定となっております。

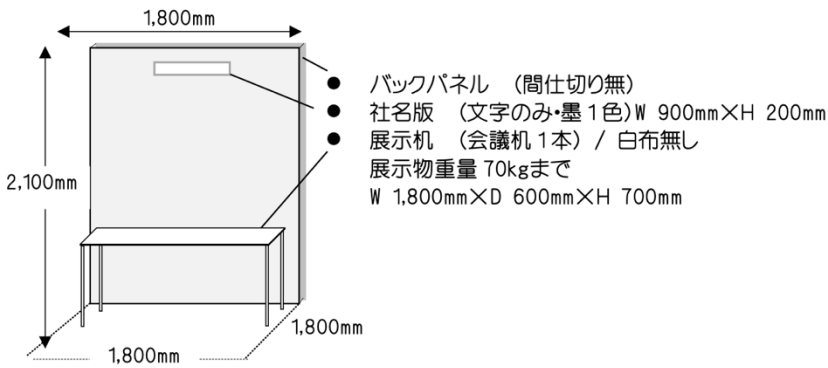
本学術大会においては、当学会の理学療法士会員様と北九州の地で対面し、言葉を交わして頂くとともに医工連携のリスタートとしてご参加頂けますと幸いです。

令和6年2月吉日
第14回日本支援工学理学療法学会学術大会
大会長 遠藤 正英
(公印省略)

開催概要

1. 大会名 第14回 日本支援工学理学療法学会学術大会
2. テーマ 「臨床と研究の融合 ～支援工学の活かし方～」
3. 会 期 2025年12月20日(土)21日(日)
4. 会 場 北九州国際会議場
(〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30)
5. 大会長 遠藤 正英(桜十字グループ事業本部)
6. 副大会長 山本 裕晃(福岡天神医療リハビリ専門学校)
7. 準備委員長 田代 耕一(医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院)
8. 参加人数 500 名
9. 主 催 一般社団法人 日本支援工学理学療法学会
10. 運営事務局 担当者:石橋 和博 連絡先: as-f7633@outlook.jp(運営局)

企業展示募集要項

1. 展示会場	北九州国際会議場 1F イベントホール
2. 基礎小間(予定) ※小間サイズは多少変更する 可能性があります	寸法(間口)1,800mm×(奥行き)1,800mm×(高さ)2,100mm ※バックパネル、社名板はご準備下さい。 会議机、パイプ椅子は準備いたします。 ※高さ制限 2,400mm といたします。 ※スポットライト、必要電力は希望者負担となります。 ※配電盤からの電気供給幹線工事  <ul style="list-style-type: none"> ● バックパネル (間仕切り無) ● 社名版 (文字のみ・墨1色)W 900mm×H 200mm ● 展示机 (会議机1本) / 白布無し 展示物重量 70kgまで W 1,800mm×D 600mm×H 700mm ※小間とは別に実演スペースの設置を検討しております。
3. 展示出展料	20,000 円 ※申込受理后、ご請求書を運営事務局よりお送りいたします。 ※「振込金受取書(振込控)」をもって領収証とさせていただきます。 ※振込手数料はご負担ください。 ※振込口座は請求書に記載いたします。 ※1社あたり3名分の参加は参加費無料とする。 4名以上は学会参加登録をお願いいたします。
4. 申し込み締切日	2025年8月29日(金)まで
5. キャンセル	2025年9月5日(金)まで

※申し込みは上記連絡先へご連絡ください。